▲苗植えセレモニーで集合写真

▲都路でヒューマンツーリズム

畑からの情報発信

原発事故による農作物の風評被害が解消されていないことなどから考えても、まだまだ市の情報が外部の方々には伝わりにくい状況が続いています。

そこで応援隊は、平成27年春から都路町古道地内の畑を借り、外部ボランティアの方と約10種類の野菜を育てました。その過程では、畝(うね)作りの作業や作物の育て方、放射線量の計測など、地元の方や外部のボランティアにご協力いただきました。その外部のボランティアの中には、都路で農業が再開されていることに驚いたり、自分が関わった作物が気になって再び都路を訪れたりする方もいました。

農作物の情報発信だけでなく、新しい交流が生まれているようです。

▲リコージャパンボランティアチームが野菜収穫

「人」との交流を通して「田村の魅力」を伝える

応援隊は、これまでの活動の中で、機会を見つけては、田村市のことを市内外に知ってもらおうとアピールしてきました。入口はボランティア活動や視察などです。多くの方は、その土地で出会った「人」に魅力を感じ、またその人に会いたい気持ちで、リピーターとして訪れているといいます。ただボランティアで作業をするだけではなく、作業をしながらその土地の人とふれあい、地元ならではの文化や経験談、そこに行かなければわからない話などを聞く体験が、人の心を動かすようです。

今後の活動の中でも、田村市に眠っている魅力や、新たな取り組みを見出していくと同時に、多くの方に田村市のファンになっていただけるよう活動していきたいと、応援隊は熱く語っています。

▲住民と大学生の郷土料理教室

「田村を一緒に盛り上げてくれる方」を募集

応援隊では、一緒に地域を盛り上げるために主体となって活動できる方や、共につくりあげていくサポーターを募集しています。月に1度、「ボランティア作戦」をホームページで告知し、実施しています。（ご希望の方はメーリングリストにご登録いただき、応援隊より情報を発信することも可能）

一緒に企画を考え、地域を盛り上げたい方も募集しております。ので、ぜひ応援隊にお問い合わせください。

▲地域のアイディアワークショップ

①作業系ボランティア

地域の方々が一人ではできないこと、地域のためになることなど、住民の方々と一緒に作業をしています。体力や作業に自信のある人が多く参加しています。

②交流系ボランティア

住民の方々と交流しながら、地域のことを知る機会として郷土料理教室や座談会などを開催しています。新たに人とつながり、話をすることで気持ちが前向きになるという声が寄せられています。

▲「たむら米調べるセンター」を視察

③団体視察・受入

大学や企業からたくさんの方々が、田村市のことを知り、地域の人とつながる機会を設けています。

④交流ツアーの企画・運営

人の魅力に焦点を当てたヒューマンツーリズムや、農業体験などを行うグリーンツーリズムなど、住民の方々との交流を通して復興へと歩む姿にじかに接することができる企画をしています。

▲「グリーン SUGOS!」モニターツアー（ひまわり染め）

▲応援隊のフェイスブックをぜひご覧ください。

【お問い合わせ先】

田村市復興応援隊

◆船引事務所：平日9：00～17：30◆
〒963-4312 福島県田村市船引町船引源次郎120-3
◆都路事務所：平日9：00～17：30◆
〒963-4701 福島県田村市都路町古道新町46
☎ 0247-61-5153　Fax 0247-61-5114
E-Mail：tamura.ouentai@gmail.com　HP：http://tamura-ouentai.org/
facebook　https://www.facebook.com/tamurafukkou　いいね！

【平成27年度 田村市復興応援隊 活動報告会】

応援隊の活動報告会を田村市内2か所で開催します。ぜひご参加ください。

●都路会場
日時　3月12日（土）午後2時
場所　都路公民館

●船引会場
日時　3月13日（日）午後2時
場所　ウエディングプラザ丸美

●申込方法
応援隊まで電話または電子メールにてお申し込みください。
☎61-5153
E-mail：tamura.ouentai@gmail.com

●この特集のお問い合わせ
総務部 協働まちづくり課
☎81-2135